

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二 中学校

教科名【 国語 】

<p>■生徒の状況</p>	<p>1 年: 前向きに課題に取り組む生徒が多い。しかしその一方、自分で考える力に個人差が見られる。</p> <p>2 年: 前向きな生徒がほとんどである。発言は全体的に消極的であるが、与えられた課題はよく行う。古典への苦手意識がある。</p> <p>3 年: ・どの課題にも意欲をもって取り組む姿勢が多く見られる。</p> <p>・新型コロナウイルスの為、グループ活動が思うようにできない状況にある。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>1 年: 漢字の書き取りと読解の力、特に小説の登場人物の心情を読み取る力を向上させることが課題である。</p> <p>2 年: 論理立てて文章で説明することに苦手意識がある。反面、スピーチ等プレゼンの能力に高いものがある。</p> <p>3 年: 非常に意欲的な生徒と教科の苦手意識が強い生徒との差がある。</p>
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>1 年: 自分で考える時間の後に人の意見を参考にする時間を設け、学び合い学習を進めていく。また、週一回の漢字小テストを実施して、漢字に触れる機会を増やしていく。</p> <p>2 年: 意見をみんなの前で発表する機会を多く求める。200 字程度の短作文を 20 回程度行う。</p> <p>3 年: 漢字の習熟と、グループ学習やディベート等を取り入れた協同学習を15分の枠内で行う。</p>

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二 中学校

【社会】

<p>■生徒の状況</p>	<p>1年:1学期は地理だったので、地図を完成させたり、色の塗分けをしたりする作業が多かった。時間をあげると熱心に取り組む生徒が多い一方で、全く机の上に教科書等を出せない生徒も1クラスに2、3名見受けられた。小テスト等も同様で、しっかり対策して毎回満点を取る生徒がいる一方で、0点に近い生徒もいた。</p> <p>2年:1学期は地理と歴史の両方を行った。両方とも教科書にあるグラフや写真を読み取ったり教科書の本文を読んで空欄を埋める作業を導入したりして授業を展開していった。授業の中でも生徒が楽しんでもらえるように話し方や発問に工夫を入れたことで、積極的に発言してくれる生徒が大きく増えた。</p> <p>3年:提示された個人課題などには比較的しっかり取り組んでいる。また、定期考査などの結果をみると、資料を読み取って文章化することが苦手な生徒が多く、思考力・判断力・表現力の面で課題がある。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>1年:協働学習が全くできなかったのが残念である。15分までの話し合いが可能になったので、考えさせる問題をグループで相談させて答えを出させるという作業を取り入れていきたい。また教科書をしっかり読み取る作業を入れたい。また定期考査が難しいということなので、次回の定期考査前には対策プリントを配る予定である。</p> <p>2年:自分自身が新任であったことから手探りの状態で授業を行った。そのため、授業スタイルがなかなか定まらずにいた。生徒に直接授業についての感想や意見を聞いていくことや研修で学んだことを中心に授業の中に取り込んでいきたい。</p> <p>3年:学習課題について、自分の考えをもち、それを発表できるようにする。新型コロナウイルスの影響で、話し合い活動がなかなかできないが、お互いの考えを伝えあい、自らの考えや集団の考えを発展させること。考えたことを文章で表現できるようにする。</p>
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>1年:クイズ方式で、各班にホワイトボードを渡し、答えを考えさせる。その問いは地理の「どこの国か」また、歴史の人物当てなど、単語で答えさせるものから、文章で答える問題などを考えている。生徒が夢中になって競うものにするには教員が練る必要がある。</p> <p>2年:ホワイトボードを用いたグループワークを導入して協働学習の機会を与えた。また、授業のまとめを書かせるシートを課題として掲示することで、生徒の思考力や表現力を伸ばそうとしている。</p> <p>3年:新型コロナウイルスの影響で、今は取り組みにくいですが、問題解決型の学習、特にグループ活動を授業に積極的に取り入れ、言語活動の機会を増やす。また、進んで考えたり、課題を積極的に見つけられたりするような教材や資料をより多く準備する。生徒の理解を少しでも深められるように、電子黒板やデジタル教科書などを活用し、資料の読み取り方を視覚的に解説し、記述式問題に慣れさせる。</p>

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二 中学校

教科名【数 学】

<p>■生徒の状況</p>	<p>1年:定期考査において90点以上37%いた。正負の数の限られた範囲ではあるが、よくできていた。反面、授業ノートなどが雑になってしまう生徒がいる。</p> <p>2年:定期考査において、80点以上20%、20点以下が7%という結果だった。2年生になり、学習に対する意欲が出てきており、証明問題にもよく取り組んでいた。</p> <p>3年:定期テスト・復習テストなど20点以下の生徒がの生徒が固定化されていたが、受験を見据えるようになり、3年生になって頑張ろうと意欲的になってきている生徒も多く見られるようになってきた。じっくり考える問題にもしっかり取り組めるようになっている。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>1年:数学的な思考力の育成が今後の課題である。</p> <p>2年:課題解決型学習にたいする取り組みが今後の課題である。</p> <p>3年:文章を読み込んで考える問題への取り組みが課題である。</p>
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>生徒の習熟の程度に応じた学習を定着させる。</p> <p>電子教科書・書画カメラを活用することで、生徒がより問題に意欲的に取り組めるようになるようにする。</p> <p>単元の導入や課題学習を通して数学の有用性を図る。</p>

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二 中学校

【理科】

<p>■生徒の状況</p>	<p>○1年:授業に集中して取り組み自分自身で考えようと努めていると答えた生徒は約9割、家庭での学習として日頃から授業の予習や復習をしていると答えた生徒は約6割いる。今年度はコロナウィルスの影響で理科室が使用できない状況だが、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>2年:コロナウィルスの影響で理科室の使用に制限はあるが、意欲的に取り組んでいる。実験があるときは一人一人がしっかりと予習をし、理解した上で授業を受けることが出来ている。一方で、科学的に考え、問題解決能力を問う問題が弱い傾向がある。</p> <p>3年:昨年度のアンケートでは、授業に集中して取り組み自分自身で考えようと努めていると答えた生徒は85%、家庭での学習として日頃から授業の予習や復習をしていると答えた生徒は68%だった。今年度は昨年と比べ、学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○昨年度の東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果から、「ばねののびとおもりの重さの関係を考える実験についての問題」および「地層の堆積を考察する問題」が弱い傾向が見られる。</p> <p>○昨年度の全国学力調査の結果から、書く力が弱い傾向が見られる。</p>
---------------	---

<p>■ 指導についての課題</p>	<p>○授業に対しては集中して取り組み自分自身で考えようと努めている生徒が多いが、家庭では授業の予習や復習をしている生徒が少ないことが課題である。</p> <p>○計算問題が解けない、数学的な概念ができていないなど、数学(算数)でつまづいている生徒が、表やグラフを読み取ることができず、質量パーセント濃度や地震波の速度だけでなく電気関係や物体の運動などについて計算することができないことが課題である。</p> <p>○自然の事物・現象についての概念や原理・法則の理解を図るためには、生徒自身に実験・観察を行わせることが大切なのだが、実験器具が足りないことが課題である。</p> <p>1年;生徒自身が意欲的に実験に取り組む姿勢がある一方で、実験結果から科学的に考察する力が弱く、同様に、自分の力で考えて書く力に課題がある。また、家庭では授業の予習や復習をしている生徒が少ないことも課題である。</p> <p>2年;生徒自身が意欲的に実験に取り組む姿勢がある一方で、実験結果から科学的に考察する力が弱く、自分の力で考えて書く力に課題がある。家庭学習は習慣化していない生徒が目立つことも課題である。</p>
<p>■ 授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>○現在でも宿題を出しているが、自分自身で予習・復習をしない生徒や数学(算数)でつまづいている生徒がいるため、宿題の量や内容をさらに工夫する。特に、計算が必要な単元では、多数の問題に取り組ませる。</p> <p>○質量パーセント濃度や地震波の速度、電気関係や物体の運動などの計算に対して苦手意識がある生徒が、意欲的に学習に取り組むことができるよう、生活と関連した課題を可能な限り設定し、計算問題に取り組ませる。</p> <p>○感染症対策をとりながら、できる限り実験・観察を行う。</p> <p>○実験や観察を行う際は、仮説を立てさせてから取り組ませる。また、可能な限り一人や二人で行えるようにし、自然の事物・現象についての概念や原理・法則を生徒自身に見いださせ理解させる。</p> <p>○書く力を向上させるため、理科の授業においても、レポートなど文章を書く課題に取り組ませる。</p> <p>1年;書く力を向上させるために、考察の書き方の指導を段階に分けて行い、課題に取り組ませる。また、自分自身で予習・復習をしない生徒には宿題の量や内容をさらに工夫する。</p> <p>2年;ICT を活用して、視覚的に理解させると同時に、書く力を向上させるために、考察の書き方の指導を段階に分けて行い、課題に取り組ませる。また、問題解決能力や科学的に考える力を身につけさせるために、実験の予習を宿題にし、一人一人の理解力を高める工夫をしている。</p>

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立志村第二中学校

教科名【音楽】

<p>■生徒の状況</p>	<p>7年生…とても活発で積極的に授業に取り組んでいる。2学期になり、歌うことへの抵抗感が少なくなってきたように感じる。しかし、自分が感じ取った音楽の情景や雰囲気言葉を説明したり文章にすることが難しいと感じる生徒がいる。また、提出物への意識が低い生徒が多い。</p> <p>8年生…明るく活発で積極的に授業に取り組んでいる。活動する時間、話を聞く時間等しっかり切り替えができています。</p> <p>9年生…授業態度もまじめで、音楽や音真剣に向き合い積極的に授業に取り組んでいる。提出物への意識も高い。</p> <p>全学年共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 忘れ物をした場合には、授業前に報告することで対策がとれるようにしている。その結果、週に1時間もしくは2時間の貴重な時間を無駄にしないような意識付けができています。また、授業規律も整っており、発言にも積極的な生徒が多く、意欲的に授業に取り組むことができています。 ○ 記録カードを毎時間で使用することで、本時のねらい、振り返り、次回の目標や自身の課題を明確にすることができる生徒が多い。 ○ 歌唱に関しては、歌うことが好きな生徒が多いように感じる。また、歌詞と音楽的な特徴を関連させながら、どのように表すか思いや意図を持って音楽と向き合おうとする生徒が多い。 ○ 鑑賞の授業では、音や音楽からストーリー性を読み解くことに積極的である。また、時代背景や音楽的な特徴を捉え、それらを根拠として、思いや意図、イメージを言葉で伝えることに意欲的である。
<p>■指導についての課題</p>	<p>7年生…提出物への意識付けを徹底させる。</p> <p>全学年共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を深めたり発展させたり、興味を持たせるようなめあてや発問の工夫をする。 ○ 様々な音楽を演奏したり聴いたりすることを身近に感じるような授業を工夫する。 ○ リーダーを育て、リーダーを中心に主体的に授業の励む姿勢を身に付けさせ、生徒自身に達成感をもたせる指導方法を確立する。 ○ 生徒一人一人が授業に参加している実感が持てるよう授業展開を工夫する。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>全学年共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器を有効に活用することで、視覚的な効果を利用し、鑑賞能力や表現活動の向上に役立てる。 ○ 協働的な学習の場を設定し、互いに学びあう時間を持つことで、全体の学習意欲の向上と音楽技術の成長を目指す。 ○ 毎時間の学習記録カードを活用し、その授業で何を学び、何を身に付けたのかという自己理解を行い、次に向けた目標を自分で考えることで、学習意欲の喚起と学習内容の定着に役立てる。 ○ 基礎的技能を定着させる時間の確保する。 ○ 楽譜や歌詞、歴史的背景など様々な情報から音楽を根拠をもって読み解き、表現を深め、創意工夫する時間の充実を図る。

【令和元年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二中学校

【 美術 】

<p>■ 生徒の状況</p>	<p>全学年共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの生徒は静かに授業に集中して取り組んでおり、授業態度は極めて良好である。与えられた課題に対してきちんとこなそうとする生徒が多く、更により高い次元に挑戦しようとする向上心や完成度を高めようとする意欲的な生徒も目立つ。 ○校内にギャラリーを設置し、優れた作品を展示しているが、生徒たちは関心を持って見学している。普段見ることの少ない他学年の生徒作品も展示しているため、授業での制作の参考にするなど刺激を与え合う場になっている。 <p>7年 一部授業の課題についていけない生徒がおり、そのような生徒に関しては集中力が途切れないように個別指導をしている。</p> <p>8年 授業態度も良好で、作業に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>9年 進級するごとに集中力が向上し、今年度は極めて整然とした雰囲気の中で授業が進んでいる。</p>
<p>■ 指導についての課題</p>	<p>全学年共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会全体がパソコンなどによる機械化が進んでいくにつれ、アナログ的な作業が減り、それに伴い実践的な細かい作業が苦手な子供たちが増えているように感じる。道具を上手に使いこなす能力を身につけることで、創造力や表現力、また集中力を高めさせたい。 <p>7年 授業の課題についていけない生徒が一部おり、個別指導に時間がかかる。苦手意識が強く、根気が足りない部分があり課題である。</p> <p>8年 生徒は創造的な経験値が乏しいため、発想を膨らませるための方法が見出しにくいようである。工夫を凝らすことが苦手である。</p> <p>9年 技能面でより重点的に力を発揮しようとする生徒が多いが、一方で発想・構想の能力を伸ばすことに戸惑いが見られる生徒もいる。</p>
<p>■ 授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>全学年共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科の特性である体験的な要素を更に充実させ、全てを機械に頼らない手作業を重視し、人間が本来持つ創造性を養い伸ばしていきたい。様々な素材に触れながら実体験として学習を積み重ねていく。 ○他の人の作品を鑑賞しながら、自分の作品と比較したり組み合わせたりして参考にし、よりよい作品を創り出す場面を設定する。 ○作業の最初の段階で多くのアイデアが浮かぶようにより多くの参考作品を示し、より具体的な作業内容の説明を行うようにする。 ○一斉指導の他に個別に生徒の質問に丁寧に対応し、助言が必要な生徒や作業の苦手な生徒に対しては具体的な支援を徹底して行う。 ○課題については美術が苦手な生徒でも取り組みやすい素材を精選している。その後の取り組みの中で自分の力量に応じて内容の濃い作品にレベルを高めていくことができる。

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二 中学校

教科名【 保健体育科 】

<p>■生徒の状況</p>	<p><全体像>体力的に課題がある。特に走力・筋持久力である。体カテストは実施できていないが、2ヶ月の自粛期間はかなり影響があると考えられる。一方「体づくり」の充実を図ることで、生徒の知識・理解は深まっている。</p> <p><9年男子>授業に対して主体的に取り組む生徒が多い。</p> <p><9年女子>授業に対しては、意欲は高く、目標をもって自発的に活動する姿が見られる。</p> <p><8年男子>2学期に入り提出物などに積極的に取り組む姿勢が見られる。</p> <p><8年女子>2学期に入り、学習カードの提出、実技への創意工夫など向上が見られる。</p> <p><7年男子>自分たちで声を掛け合い、授業を大切にしようとする態度が身につけてきた。学習カードの内容をさらに深めたい。</p> <p><7年女子>時間の使い方が早くなり、活動も活発になってきた。学習カードの内容をさらに深めたい。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p><全体像>今年度は、感染症対策のため、話し合い活動が従来通りにはできない。しかし、生徒一人ひとりの思いを共有する場面を適宜取り入れ、課題発見はもちろん、仲間と課題探求し解決できる喜びを感じさせたい。</p> <p><9年男子>人数が多いこともあり、一人ひとりの実技を実施する時間を確保する必要がある。</p> <p><9年女子>実技時間が短いので、ねらいを明確にし、先を見通した学習内容を伝え、生徒が課題発見→探求→克服に向けた一流れを自ら作り上げられるように指導する。</p> <p><8年男子>自分たちで考えさせる授業を展開することで、学習カードの判断の充実を計る。</p> <p><8年女子>不得意な種目に対する学習意欲が高まるように、学習カードはもちろん、掲示物や生徒の支援となる教具を用いて、より主体的に活動できるようにする。</p> <p><7年男子>授業内での切り替えが素早くできるように、より授業規律を明確に行う必要がある。</p> <p><7年女子>授業規律を整え、個人よりも集団行動を優先し、活動内容がより充実できるようにする。係を中心に、生徒が中心となって活動できるようにする。</p>
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p><全体像>学習カードを有効に活用し、生徒のつまずきに具体的に寄り添いたい。また、小さな発見や喜びにも着眼し、全体にフィードバックし、成長を共有する場面を設定する。</p> <p><9年男子>「見てアドバイスをする」などの活動を増やし、実技をしていなくても学ぶ機会を設け、実技を実施する際の質を高める。</p> <p><9年女子>短時間でも、見せ合う授業や話し合う場面を取り入れ、仲間から学ぶ機会を設ける。</p> <p><8年男子>授業内で探求する時間を設け、授業終わりの「振り返り」を充実させることで生徒の思考判断を高める。</p> <p><8年女子>教え合う場面を作り、課題探求の大切さ・面白さを学ぶ機会を設ける。</p> <p><7年男子>体育係を中心に声かけをさせ、自分たちで授業を作っていくことを学ばせる。</p> <p><7年女子>基本技能の定着を図るために、反復練習を行うことと、ペア学習をする場面を作りコミュニケーションの機会を設ける。</p>

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二 中学校

教科名【 技術・家庭科 】

<p>■生徒の状況</p>	<p>【7年】 ・課題に対して関心をもち、積極的に取り組もうとしている。楽しみながら課題に向かう姿勢が見られ、授業中も発言が多い。 ・集中できる時間が限られている。</p> <p>【8年】 ・課題に対して関心をもち、積極的に取り組もうとしている。楽しみながら課題に向かう姿勢が見られ、授業中も発言が多い。 ・休業中の課題については取り組み状況に差を感じ、家庭での課題となると意欲が低くなってしまいう生徒もいる。</p> <p>【9年】 ・課題に対して関心をもち、積極的に取り組もうとしている。苦手な課題に対しても真面目に最後まで取り組んでいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>・生徒の意欲や技能の差により、作業の進度に差がでてしまうことがある。</p> <p>・学年が低いほど、準備の時間がかかったり、集中できる時間が限られていたりするため、教員側の事前の準備や課題の選定が作業の充実度に影響する。</p>
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>・プロジェクターや書画カメラなどの ICT 機器を利用して説明し視覚的に理解しやすくする。</p> <p>・グループで協力しながら作業が進められるように、班編成を考え授業を展開する。</p> <p>・作品の見本やレポートのまとめ方等を提示する。</p> <p>・毎時間達成感を得られるように、課題の提示は細分化する。</p>

【令和2年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第二 中学校

【英語】

<p>■生徒の状況</p>	<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防のため、対面での会話練習グループ活動、インタビュー、大きな声での練習等の言語活動ができない状況にある。 <p><7年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書をしっかりと暗唱し、登場人物になりきって会話をしている。 ・自らコミュニケーションを図ろうとする態度をもち、積極的に授業に取り組んでいる生徒が多い。 ・英語に関心をもち、課題や提出物に意欲的に取り組む生徒が多い。 <p><8年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動に真面目に取り組む。 ・聞く、話す、読むことはできるが、書くことが苦手である。 <p><9年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・真面目に一生懸命に授業に取り組む生徒が多く、素直に活動に参加する姿勢がみられる。
<p>■指導についての課題</p>	<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的コミュニケーション能力の基礎となる語彙力を高めるための活動に継続的に取り組むことができた。 ・新型コロナウイルス感染症予防のため、言語活動に制限があるので、発音や会話の練習を工夫する必要がある。 <p><7年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭で単語や短い文での表現することはできるが、文章として書いて表現することができる生徒と苦手な生徒の差があり、それを解消していく必要がある。 ・読み解く力を身につけていくために、場面にあった質問を適宜考える必要がある。 <p><8年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙、文法、作文の表現力が課題である。 <p><9年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭で単語や短い文での表現することはできるが、文章として書いて表現することができる生徒と苦手な生徒の差があり、それを解消していく必要がある。 ・聞いて理解する力をもっとつける必要がある。

■授業革新推進に
向けての具体的な方策

<全体>

- ・語彙から文章を組み立てる活動を学年ごとに到達目標を意識させて計画的に実施していく。
- ・「書く力」の基礎となる語彙力を高める活動として、スペリングコンテスト、単語テストやビンゴなどを継続して行い定着させていく。
- ・定期考査前に、試験対策プリントを配布し、slow learner を中心に学習の支援を行う。
- ・音読活動を継続し、また副教材を活用して「聞く力」を向上させるための指導を実施していく。
- ・横並びでのペアワークや、マスク着用で15分以内のグループワークのできる言語活動を取り組む。

<7 学年>

- ・表現力を向上させるための帯活動の充実
- ・教科書の読み込み量を増やし、暗唱する。

<8 学年>

- ・チャット、スキット、スピーチを短時間で行う。
- ・スペリング、センテンスコンテストや英作文の自己表現を行う。

<9 学年>

- ・基本的な文を正しく書くためのトレーニングをする。
- ・Listening のトレーニングを増やす。